

調査結果の概要

・調査結果の概要

(1) 身近な生活環境と居住意向について

～生活環境の満足度が高いのは「買物の便利さ」、「図書館」、「住民票等の証明発行の対応」などで、定住意向は7割以上が持っている。

生活環境についての満足度

満足度を項目間で比較するために、5段階評価での回答を以下のように得点化している。

(満足) × 100、(やや満足) × 70、(やや不満) × 50、(不満) × 0。

住みよさについて、満足度が高いのは、「買物の便利さ」(59.0点)、「緑の保全・自然環境」(56.3点)など、満足度が低いのは、「歩道の整備」(28.7点)、「交通安全対策」(37.0点)などといった項目となっている。

施設の利用のしやすさについて、満足度が高いのは、「図書館」(61.5点)、「児童館・学童クラブ」(61.1点)など、満足度が低いのは、「スポーツ施設」(45.4点)、「文化・科学(学習)施設」(46.4点)などといった項目となっている。

行政の評価について、満足度が高いのは、「住民票等の証明発行の対応」(68.6点)、「市報(広報西東京)の内容」(65.5点)など、満足度が低いのは、「市の情報の開示・情報公開」(53.1点)などといった項目となっている。

西東京市の住み心地については59.3点となっている。

西東京市が取り組むべき優先度

住みよさについては、「歩道の整備」が31.1%、続いて「防犯対策」が20.6%、「緊急医療サービス」が19.9%となっている。

施設の利用のしやすさについては、「高齢者・障害者福祉施設」が25.3%、続いて「公園・遊び場」が19.6%となっている。

行政の評価については、「市の情報の開示・情報公開」が26.2%、続いて「市の窓口・電話での職員の対応」が19.2%となっている。

地域に必要なもの

「保健・医療施設」が27.7%、続いて「街路灯・防犯灯」が25.8%となっている。

定住意向

「これからも住みつづけたい」(40.4%)、「当分は住みつづけたい」(35.6%)を合わせて、76.0%が定住意向を持っている。

転出理由

「道路等の都市基盤が整っていない」が43.0%、続いて「交通が不便」が33.3%となっている。

(2) 地域活動について

~6割以上が、現在地域活動に参加しておらず、
参加したくない理由は「時間がないから」が4割弱。

地域活動参加状況

「現在参加しておらず、今後も参加しない」が37.9%、続いて「現在参加していないが、今後は参加したい」が30.6%となっている。

参加している地域活動と参加したい地域活動

参加している地域活動については、「スポーツ・レクリエーション活動」が14.8%、続いて「自治会・町内会など」が13.8%となっている。

参加したい地域活動については、「スポーツ・レクリエーション活動」が38.3%、続いて「芸術・文化活動」が35.9%となっている。

地域活動に参加したくない理由

「時間がないから」が38.7%、続いて「関心がないから」が18.0%となっている。

(3) 行政とのかかわりなどについて

~7割以上が市政への関心があり、
情報源は「市報（広報西東京）」

市政への関心

「ある程度関心がある」(50.3%)、「関心がある」(22.1%)を合わせて、72.4%が関心があるとされている。

市政に関する情報源

「市報（広報西東京）」が92.1%で他に比べて特に多くなっている。

市から得たい情報

「医療・保健などの健康に関する情報」が65.3%、続いて「ごみ収集などの生活情報」が50.9%となっている。

参加したい市政参加の形

「アンケート調査に回答する」が 58.1%で他に比べて特に多くなっている。

(4) まちの整備や環境対策について

～駅の整備では「駅周辺の道路」、「駐輪場」、
「エスカレーター・エレベーター」への要望が強い。

街並みを美しくするために必要な取り組み

「電線等の地中化を促進し電柱を減らしていく」が 44.4%、続いて「街路樹や公園のみどりを増やしていく」が 40.3%となっている。

市内の駅の整備

「駅周辺の道路」、「駐輪場」、「エスカレーター・エレベーター」は複数の駅で整備していけばよいと思われる上位にあがっている。

自然災害に備えるために必要な取り組み

「水道や電気などのライフラインの強化」が 43.5%、続いて「避難場所や避難道路の整備」が 42.8%、「救急医療体制の整備」が 40.9%となっている。

地球環境にやさしいまちづくりのために必要な取り組み

「ごみを少なくし資源のリサイクルを進めていく」が 57.3%、続いて「太陽光などの自然エネルギーの活用を促進していく」が 42.7%となっている。

ごみ減量のために必要な取り組み

「過剰包装の抑制取り組み」が 60.2%、続いて「リサイクル製品の普及などリサイクルシステムの確立」が 57.6%となっている。

(5) 福祉のまちづくりについて

～約半数が、福祉・ボランティア活動に参加することは
望ましいことであると考えている。

福祉・ボランティア活動について

「参加することは望ましいことである」が 48.3%、続いて「いずれ自分も援助を受けることになるので関心がある」が 39.7%となっている。

福祉サービスの利用料について

「できるだけ利用料の負担は低額のほうがよい」(57.1%)、「適切な料金であれば支払うことは当然である」(56.6%)がほぼ同数となっている。

ノーマライゼーションの取り組みに必要なこと

「歩道や交通機関など外出しやすい環境を整備する」が61.4%、続いて「教育の充実」が44.9%、「総合的に相談対応をしてくれる窓口を整備する」が44.1%となっている。

障害を持つ方などに負担と思われる場所

「道路・歩道の幅」が74.2%、続いて「階段や歩道などの段差」が68.6%、「放置された自転車やバイク」が57.2%となっている。

(6) 子育てと子どもの権利について

～安心して子育てをするためには

気軽に話せたり情報交換や相談できる場をつくる必要がある。

安心して子育てをすすめるための地域の取り組み

「気軽に話せたり情報交換や相談できる場をつくる」が62.0%で他に比べて特に多くなっている。

子どもの権利条約の認知

「名前くらいしか知らない」が38.7%、続いて「名前も知らなかった」が26.8%となっている。

子どもの権利について大切なこと

「障害のある子どもが差別されないで暮らせること」が63.7%、続いて「暴力や言葉で傷つけられないこと」が59.5%となっている。

(7) 生涯学習・スポーツ振興などについて

～「学習に関する情報の提供」や「学習の場の充実」が求められている。

生涯学習をすすめるために必要な取り組み

「学習に関する情報を提供する」が49.2%、続いて「講座・教室の内容を充実させる」が46.9%となっている。

文化を発展させるために必要な取り組み

「芸術・文化に触れる機会・学習の場の充実」が 39.5%、続いて「芸術・文化施設の充実」が 31.5%となっている。

スポーツ振興のために必要な取り組み

「各種体育施設の整備と活用をはかっていく」が 53.0%、続いて「スポーツ施設の管理・運営の充実をはかっていく」が 43.5%となっている。

(8) 情報化の推進について

～「パソコン」、「携帯電話」はそれぞれ約半数が所有し、
インターネットをしている。

インターネットにより情報を得る環境

「パソコン」が 51.2%、続いて「携帯電話等」が 41.4%となっている。

情報化が進むことによる期待

「自分がほしい情報を簡単に入手できる」が 59.5%、続いて「趣味や娯楽が広がったり教養を高める機会が増える」が 39.1%となっている。

情報化についての不安

「プライバシーが侵害される」が 49.2%、続いて「コンピューターを介した犯罪や関係した事故が増える」が 44.0%となっている。

(9) これからのまちづくりについて

～医療や福祉に関するニーズが強くなっている。

市の基本方向

「福祉が充実した安心して暮らせるまち」が 52.4%、続いて「医療機関や保健サービスが充実しているまち」が 41.0%となっている。

重視すべき施策

「高齢者・障害者福祉の充実」(30.2%)と「道路・交通環境の整備」(30.1%)がほぼ同数となっている。
